

2025年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

泉南ブロック
岸和田徳洲会訪問看護ステーション
かいづか支所
竹内 千代美

目標

1. 他職種向けのACP研修を開催し、地域でのACPの周知定着を促進する
2. 泉州地域の訪問看護ステーションの横のつながりを広げ、途切れのない医療と介護の連携を図り、質の高い訪問看護サービスを提供する事が出来る
3. 看護師の質の向上ため、ひとりでも多く研修会に参加できる

計画

- (1) 研修事業・・・・・・・・・・集合研修1回開催
- (2) 府民への相談支援事業・・・地域の高齢者の集うイベントへの参加
- (3) 訪問看護体験研修事業・・・看護業務 目標10件・管理業務 目標2件
- (4) 電話FAX相談Q&A事業・・・・目標25件

実践内容

- (1) 研修事業・・・・・・・・・・集合研修1回（ACP研修）
- (2) 府民への相談支援事業・・・・・・・・イベント参加1回
- (3) 訪問看護体験研修事業・・・・・・・・看護業務 20件 ・管理業務 4件
- (4) 電話相談事業・・・・・・・・・・12件

- (5) 協力气ステーション 10ステーション

出水クリニック、にしだJクリニック、訪問看護ステーション希望、訪問看護ステーションれば

訪問看護ステーションてとてと、ふちゅう訪問看護ステーション、あいわ園訪問看護ステーション

ももの木訪問看護リハビリステーション貝塚、阪南市民病院訪問看護室、訪問看護ステーションしあわせクローバー

- ・協力NS 2名 訪問看護認定看護師 （出水クリニック：菊谷NS）

皮膚排泄ケア認定看護師（つながる訪問看護ステーション：加藤NS）

(1) 研修事業

2025. 7. 26 (土) 13 : 30 ~ 17 : 00

テーマ : 「人生会議 (ACP)」 支援実践

人材育成研修

場所 : テクスピア大阪 (泉大津)

定員 : 50名 参加人数 : 53名

令和7年度 大阪府人生会議相談対応支援事業
一般介護法人、大阪府訪問看護ステーション協会
医療プロフェッショナル教育ステーション
岸和田徳洲会訪問看護ステーションかいづか支所

参加費
無料

2025年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業



「人生会議 (ACP)」支援実践 人材育成研修のご案内

「人生会議 (ACP)」の実践に必要な基本的概念や
知識・方法がわかる

日時 7/26 (土) 13:30 ~ 17:00

受付 : 13:00 ~

場所 テクスピア大阪 (泉大津)
302会議室

定員 50名
定員超過の場合、受講者の調整をさせていただきます

対象 地域包括ケアシステムに関わる医療・介護・福祉専門職の方
例) 看護師、セラピスト、MSW、ケアマネジャー、医師、看護学生等

内容 講義、グループワーク (ロールプレイ)
講師 : 濱宮 美穂氏 (助産) (佛政大学保健医療技術学部 看護学科 老年看護学領域)

会場 〒595-0025 泉大津市旭町22-45 駐車場 : 3時間無料その後¥100/30分
TEL : 0725-31-4402 駐車券を会議室に持参下さい

担当 岸和田徳洲会訪問看護ステーションかいづか支所 (担当 : 竹内)
TEL : 072-432-4852

申込締切
7月12日

申込方法

右側のQRコードを読み取り、申し込みフォームよりご参加ください
第二回は同内容で10月19日 (土) 熊取交流センターにて予定しております
ご予定が合わなかった方は、是非次回でご参加ください

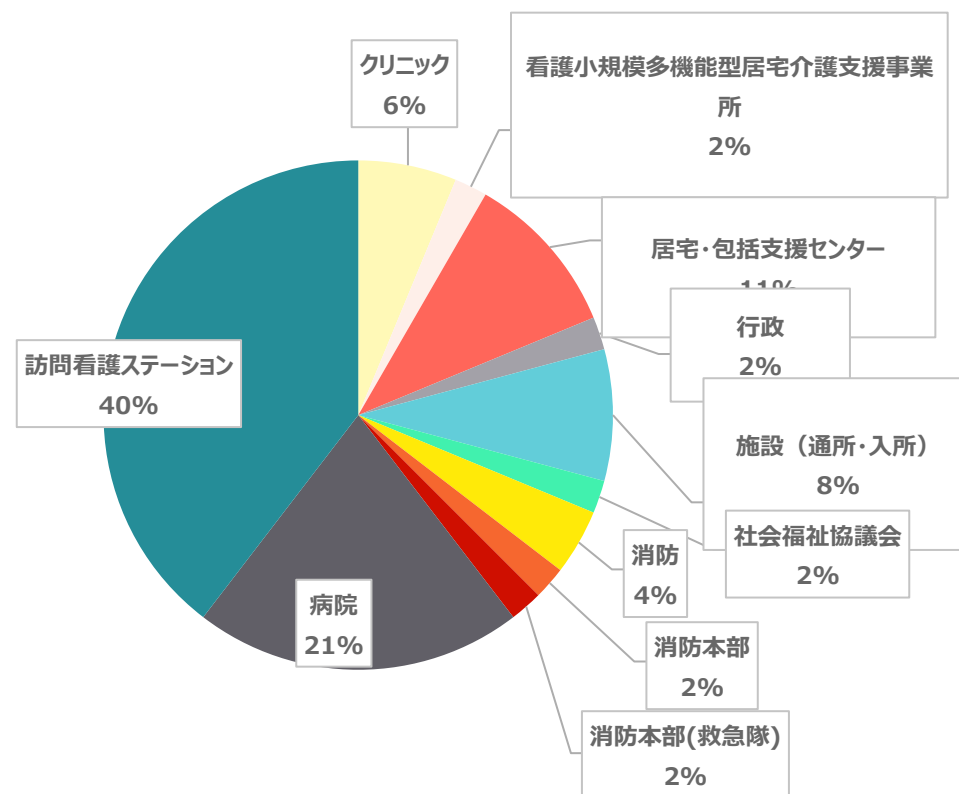
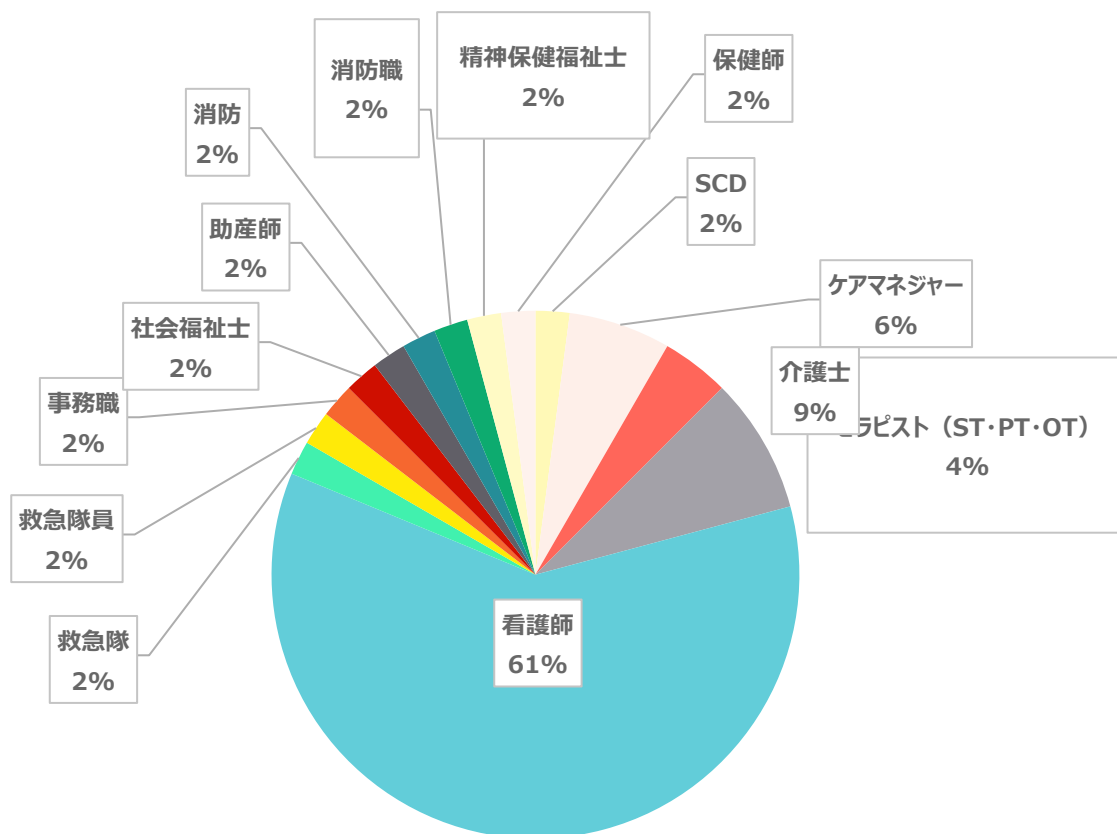


（１）研修事業 アンケート結果

参加者	53名
アンケート回答者数	48名

回答48名 あなたの現在の主となる職種を教えてください。

回答48名 あなたの現在の主となる所属先を教えてください。

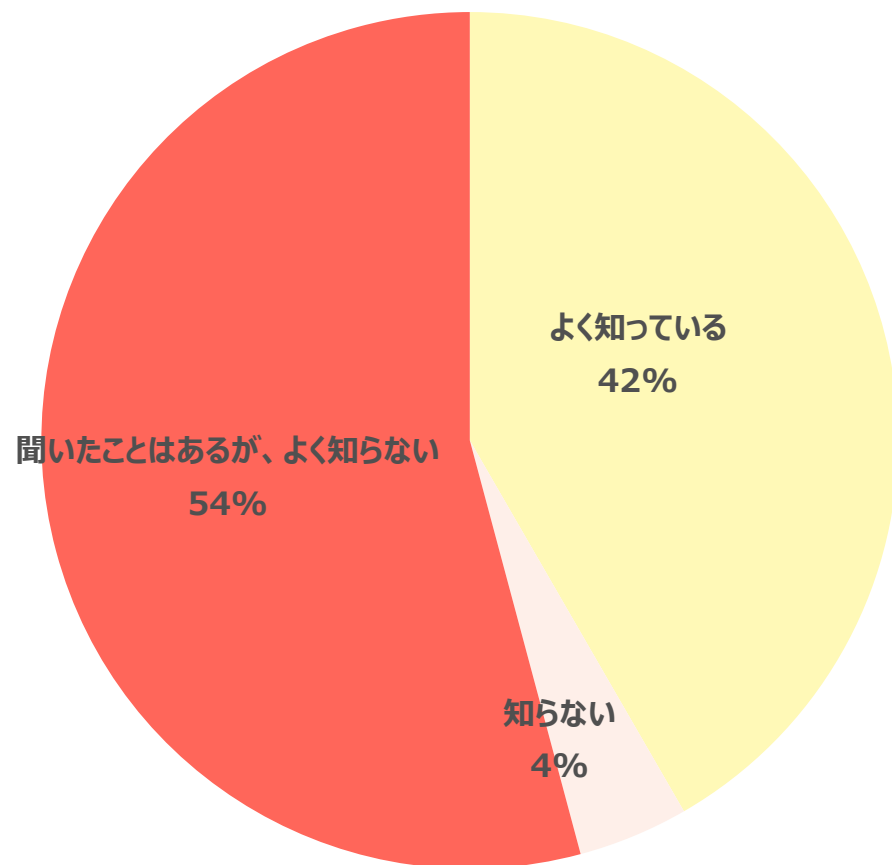


(1) 研修事業 アンケート結果

参加者	53名
アンケート回答者数	48名

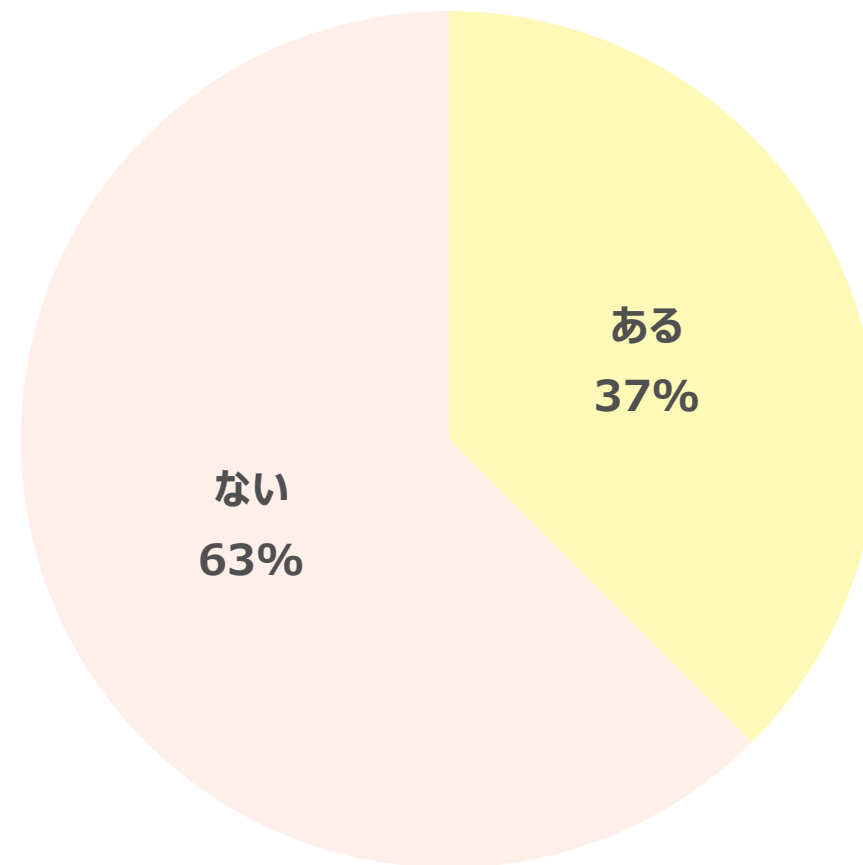
回答48名

「人生会議(ACP)」について、これまで知っていましたか。



回答48名

「人生会議(ACP)」について、研修を受講したことがありますか。

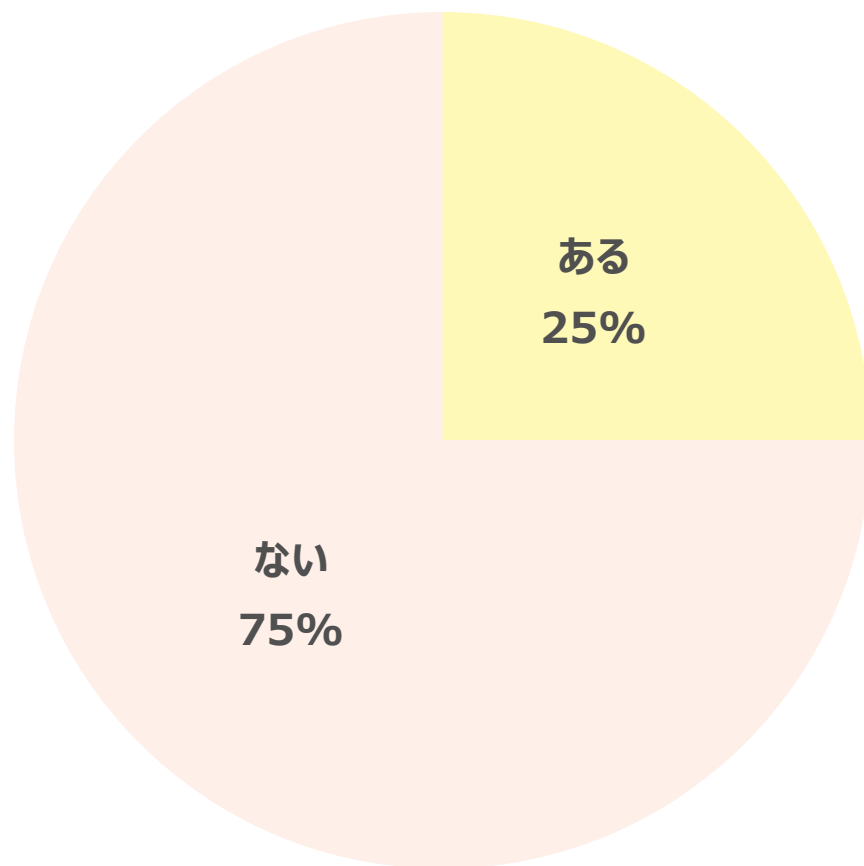


(1) 研修事業 アンケート結果

参加者	53名
アンケート回答者数	48名

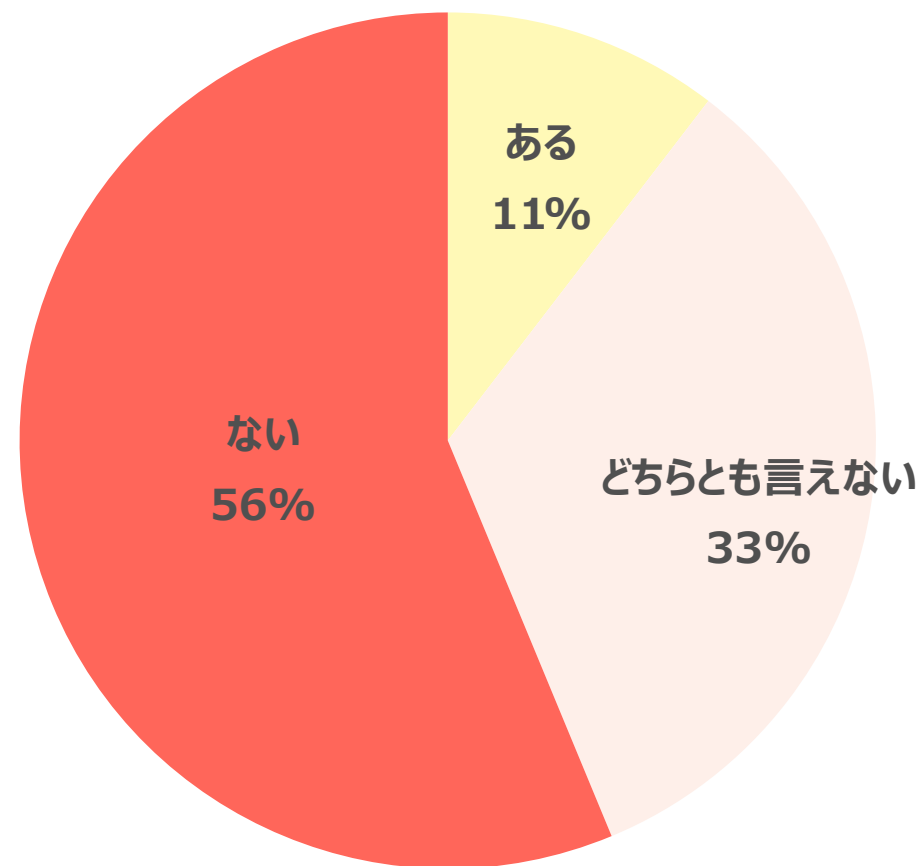
回答48名

「人生会議(ACP)」について、実践の経験はありますか。



回答48名

「人生会議(ACP)」の実践の自信はありますか。



・ 研修事業全体を通しての気づき

訪問看護師以外の病院（急性期病棟、手術室、連携室）の看護師、消防隊員、ケアマネージャー、社会福祉士、セラピスト等他職種の方の参加があり、「自分たちの中でも研修したい」「自信は無いが実践できるようになりたい」など、前向きな意見も多く聞かれ、活気のあるロールプレイを体験して頂け、意味のある研修であったと思う。まだまだ、学びたい方も多いと思うので、今後も、ACPについての研修を継続することが望ましいと考える。

(2) 府民への相談支援事業

<内容>

2025. 10. 17 地域の老人会の集会に参加

テーマ：訪問看護、人生会議についての周知

対象地区：貝塚市清児地区



(2) 府民への相談支援事業

2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会

泉南ブロック教育ステーション

病院よりもお家で暮らしたい...



ご存知ですか？ 訪問看護



看護師がご自宅までお伺いし
在宅療養をお手伝いします

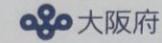
<サービス内容>

- ★健康状態の観察
- ★療養生活指導
- ★医療的処置の実施・相談指導
- ★かかりつけ医師、
サービス事業者との連携・調整
- ★日常生活支援
- ★服薬管理
- ★24時間相談対応



担当 岸和田徳洲会訪問看護ステーション かいづか支所 担当 竹内

TEL 072-432-4852



“そのとき”が来たら考えられない

だから今、人生会議



命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。



～ 人生会議とは ～

誰でも、いつでも、命にかかわる大きなけがや病気をする可能性があります。

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼できる人たちと話し合い、共有しておくことを人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）といいます。

人生会議を重ねることであなたが自分の気持ちを話せなくなった「もしものとき」に、あなたの心の声を伝えるかけがえのないものになり、あなたの大切な人の心のご負担を軽くしましょう。

※このような取組は、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。

知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。

（２）府民への相談支援事業

<内容>

「ご存知ですか？訪問看護」「人生会議とは」のチラシを配布し、地域の老人会の集会に参加させて頂き45分間説明した。お元気な方が多く、介護保険とは無縁な方がほとんどではあったが、熱心に聞いて下さり、知人や、家族のケース相談もあった。人生会議に関しても、初耳の方が多く、必要性を感じられているようであった。

府民への相談支援事業全体を通しての気づき

訪問看護は聞いたことがあっても、何をしてくれるのかを知らない方が、ほとんどであった。しかし「関係ない！」ではなく、近い将来の自分の事、自分の身近な方の事として、聞いて下さり、訪問看護につながるケースもあった。人生会議に関しても、「自分らこそやっておかなあかん事や」との、声も上がり、チラシを多めに持ち帰られる方もおられ、開催の意味があったと考える。泉南ブロックは広いので、他の地域での開催の必要性を実感した。

(3) 訪問看護体験研修事業

＜看護業務＞ 実績20名

- ・新人訪看 (4) ・急性期病棟 (4) ・リハビリ病棟 (1) ・連携室 (1) ・一般病棟 (2) ・手術室 (2)

協力ステーション ももの木訪問看護ステーション貝塚

(内容) 訪問看護の対象者や業務の流れの説明、介護保険についての説明のあと、実際、利用者様のご自宅の訪問に同行(2件以上) し、バイタル測定の実施や、可能であれば、処置の介助や一連の見学をして頂き、ステーションに戻ってから、振り返りで質疑応答や意見交換をした。

(3) 訪問看護体験研修事業

＜管理業務＞ 実績4名

・訪看新規立ち上げの管理者 (2) ・デイサービスの管理者 (1) ・ベテラン訪問看護管理者 (1)

協力ステーション ふちゅう訪問看護ステーション

(内容)

事業所の対象者、事業の内容、管理業務の流れなど説明後に、実際、利用者様のお宅へ訪問同行(2件以上)して頂き、戻ってから、他事業所との連携の状況や業務する上での疑問点や不安点、請求業務、スタッフ管理に関して等の意見交換や、質疑応答をした。

訪問看護体験研修を通じての気づき

- 新人の方には、訪問看護のやりがいや楽しさを感じながら、寄り添う姿勢を学んでいただき、訪問看護を続けたいという気持ちを受け取ることができた。
- 病院勤務の方には、在宅ならではの工夫や個別性を体験して頂き、自宅で療養される利用者様の姿を、実際に見ることで、退院後の療養生活のイメージを持っていただく事が出来た。
- 管理者の方は、質問も多く、1日の流れの中で聞きたいことが次々と出てく感じで解消できたことも多かったが、1日では足りなかったと反省する。この研修がご縁で、ステーション協会に入会されたステーションもあり、その点は良かったと思う。

（４）電話FAX相談Q&A事業

〈 窓口時間 〉 月曜日～金曜日 10：00 ～ 16：00

〈 広報方法 〉 チラシを作成し非会員を含めたステーションや居宅支援事業所へFAX又は送付した

〈担当者〉 泉南ブロック教育ステーション事業担当 ： 岸和田徳洲会訪問看護ステーション かいづ
か支所 竹内

協力ステーション ・ にしだJクリニック ・ ももの木訪問看護リハビリステーション貝塚

〈実績〉 12件

〈相談内容〉 報酬内容 2件・実務内容 7件・指示書/記録関係 2件・訪問看護の活用 1件

・電話FAX相談事業全体を通しての気づき（効果や課題等）

依頼が少なく、訪問看護に直結した相談は少なかったが、自分の知らない事を逆に教えて頂き、協力ステーションの協力を得て対応でき良かった。

色んな疑問を抱えている方が気軽に相談できるこの事業は続ける必要があると感じ、告知に関しては期間途中でのお知らせも必要であったと反省している。

地域における協力体制についての気づき

ブロック全体では、研修の参加にもなかなか協力して頂けない現実がある。

しかし、協ルステーション間は、年々協力体制が整ってきたように思われる。

特に集合研修においては自発的な意見もありとても感謝している。

ブロック内は、ばらばらな気持ちを一つに出来るよう、さらに考えていかなければならないと考える。

設定した目標の評価

1. 多職種向けのACP研修を開催し地域でのACPの周知定着を促進する

看護師以外の職種（消防隊、ケアマネージャー、介護士、社会福祉士、セラピスト）の方に参加頂き、お互い違う立場での意見を聞くことができ、活気あるロールプレイになり、参加して良かったという感想もいただい、定着には至らなかったが周知はある程度できたと思われる。しかし、泉南ブロックは地域が広いため、まだまだ周知の出来ていない地域もあるので引き続きの研修の必要性を感じた。

2. 泉州地域の訪問看護ステーションの横のつながりを広げ途切れのない医療と介護の連携を図り、質の高い訪問看護サービスを提供する事が出来る

ACP研修や他の教育ステーション事業への協力をして頂いた協力ステーションの中でのつながりは特に強くなったと感じる。そこに、体験研修に参加の方も加わり、顔の見える関係づくりも少しずつではあるが、連携も少しずつとりやすくなってきている。

3. 看護師の質の向上のため、ひとりでも多く研修に参加できる

研修の度に、参加の声掛けをしていたが、なかなか参加してもらえず、一人でも多くの参加には至らなかった。

教育ステーション事業全体の効果と次年度の課題

教育ステーション事業の目的をきちんと伝えることが出来ていなかったことが、一番の原因と反省しているが、協力ステーション以外のステーションは会員であっても研修の参加さえも協力が得られない現状があり、泉南ブロックのバラバラ感は続いている。

しかし、協力ステーションは昨年より協力体制が整ってきた実感があり、ACP研修の後は、楽しかったと思えた。皆に助けられている！皆と一緒に動いている！それを感じる事が出来た。

次年度は、教育ステーション事業担当者だけが大変な思いをすることがないように、企画の段階から、協力ステーション全員で考え、事業全般の協力が出来るよう提案し、皆で頑張った泉南ブロック！といえるよう、協力ステーションの一員として力を注ぎたいと強く思う。

そして、協力ステーションだけでなく、ブロック全体にその思いが伝わり、ブロック全体が一つになって、訪問看護師として向上できることが次年度の大きな課題と考える。